

第3学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和8年5月27日 5校時 教室

3年2組 34名

1 単元名 「大豆プロジェクト(仮)」

2 本時のねらい

- ・国語で関心をもった大豆を原料としたきな粉を作って味わうことで、作ることへの関心をさらに高める。

3 教師の願い

- ・きなこを作り、食べる活動を通して関心を高め、もっと作りたいという思いをさらに強めてほしい。

4 本時の展開(4/52)

時間	主な活動内容	○・・・留意点等 評 ・・・評価
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;">大豆からきなこにへんしんさせよう！</div> <p>1. きなこを作る準備をする。</p>	<p>○マスク、三角巾を身に着け、髪の毛の長い児童は結ぶように声をかける。</p> <p>○班の形になり、机の上に新聞紙をひく。</p> <p>○班で1セットすり鉢を使うように声をかける。</p>
25分	<p>2. グループごとにきなこを作る。</p> <p>C:本当にきなこができるのか楽しみだな。</p> <p>C:うまくすりつぶせないな。</p> <p>3. 作ったきなこ、市販のきなこを食べ比べ、班のメンバーと感想を交流し合う。</p> <p>C:大豆の味がした。</p> <p>C:粒の大きさがちがうな。</p> <p>もっと細かくすりつぶさないといけないんだね。</p> <p>C:お店で売られているきなこの方がおいしいな。</p> <p>どうしてだろう。</p> <p>C:食感もちがうな。作ったきなこは食べづらいな。</p>	<p>○炒った大豆を使う。班のみんなで交代しながら、すり鉢を使ってすりつぶしていくように伝える。</p> <p>○作り終わったら、タブレットで写真を撮って記録しておくよう伝える。</p> <p>○見た目や食感、味といった観点から比べるように声をかける。</p> <p>評作ったきなこ市販のきなこを食べ比べる活動を通して、どうしたらもっとおいしいきなこができるのか考えている。</p>
5分	<p>6. 食べ比べてみて思ったことをロイロノートにまとめていく。</p> <p>C:次は、もっとおいしいきなこを作りたいな。</p> <p>C:次は、もっと細かくすりつぶしてみよう。</p>	<p>○次回、もっとおいしいきなこを作るためにどうしたらよいかも考えるよう伝える。</p>